



亀中だより

No.25 令和7年10月22日 文責:岡田



For The Students!

夢は見つけるものではなくて、 出会うものです。

10月6日、PTA 企画部が計画の中心となり、学校、PTA、教職員組合の三者による「令和7年度亀山中学校教育懇談会」を行いました。亀山市の出身で東海地域を中心に全国で活躍されているDiamond Taku (ダイヤモンド タク)さんをお迎えして、マジックショーとご自身の考える“夢”について、経験を交えながらお話をいただきました。見出しの言葉は、Diamond Taku さんのお言葉です。

Diamond Taku さんは、ご自身の挫折した経験、プロマジシャンを目指し、実現させて行く過程での思い教えてくれました。「夢は変わってもいい」「まわりに何か言われても自分を信じること」「挑戦し続けること」を話され、今この瞬間を一生懸命に生きることを伝えてくれました。

また、保護者や教職員といった大人に向けても、否定せず、応援する大人になってほしいと訴えられました。ドリームハラスメントという言葉がありますが、周囲の大人や社会が無理に夢を持つことを強要することにより、若者に精神的な負担をかける現象をいいます。大人は子どものよき理解者、支援者でありたいものですね。なにしろ、Diamond Taku さんが「夢を持っている人」と問いかけた時に、手を挙げた大人は、ひとりもいなかったのですから…。



校長室

Sala de Director
Sala de Director
Principal's Office



校長室ってどんなところ?!

「校長室」と聞いてどんなイメージをお持ちですか。生徒のみなさんにとってはあまり入室することのない近くて遠い場所ではないでしょうか。保護者のみなさんにとっては、何か問題があって呼び出されるあまり行きたくない場所だったりして…。

しかし校長の立場からすると、そんなネガティブなイメージでは寂しいと感じています。自由に出入りできる部屋とはいかないまでも、生徒にとってももう少し明るいイメージの部屋であってほしいものです。

9月の終わりごろ、校長室の扉を開けたままにしていたところ、3年生の生徒が何人か「校長先生!」と声をかけてくれたので、校長室へ招き入れました。初めて入室した生徒は物珍しそうに歴代校長の写真を見たり、定期テストの結果を教えたりして、楽しくお話ししていただきました。教室や部活動中に見せるのとはまた違った顔で、時計を見てチャイムが鳴る前に「またね!」といって教室に戻っていきます。たまたま居合わせた先生には、いくらかリラックスし(すぎ)た姿がそうさせるのでしょうか、「ひやひやしたわ」とか「もう二度と来ないように言っときます」なんて言われましたが、こんな楽しい時間を奪われては困るので、何も言わないようお願いしておきました。(笑)

思えばこの生徒たちも、まだまだコロナ禍を過ごしてきた世代であり、人との距離やコミュニケーションを制限された時期を過ごした生徒たちです。3人がけのソファに4人が窮屈そうに座りながらも、楽しそうに話してくれる姿に、この当たり前があることって幸せなんだなとあらためて思いました。3年生はもとより、1,2年生のみなさんでも何かあったら、来室してください。いや、なんにもなくてもどうぞ!